

## 東京国際空港（羽田空港）周辺海域における 夏季貧酸素の状況について

### トピックス

24時間365日の工事工程で進められている東京国際空港（羽田空港）の4本目の新たな滑走路となるD滑走路建設工事の実施にあたっては、工事による水環境への影響の有無を適切に把握・評価するため、環境監視計画〈工事中〉に基づく環境モニタリング（環境監視地点での水質測定）を工事着工の平成19年3月30日から毎日実施しています（図－1参照）。

このうち、溶存酸素（DO）濃度については、例年、夏季に底生生物の生息が困難と考えられている2～3mg/リットル以下の低い溶存酸素濃度（貧酸素の状況）が観測されている羽田空港周辺海域の底層において、今年度も6月上旬からDO濃度が概ね3mg/リットル以下に低下する傾向（貧酸素の状況）を確認しました。（図－2参照）。

水温については、例年、4月中旬より上層・中層と底層との水温の差が大きくなり、この傾向が10月上旬まで続きます。10月中旬からは、上層・中層と底層との水温の差が小さくなり、水温が逆転し、各層の水温が低下する傾向を観測しています。今年度も4月中旬より水温の差が大きくなり、各層の水温が例年と同様に上昇する傾向を確認しました（図－3参照）。

平成21年7月8日（水）

国土交通省関東地方整備局 東京空港整備事務所

#### 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所  
D滑走路プロジェクト推進室 松本・高野・中島  
住所 東京都大田区羽田空港3-5-7 メンテナンスセンターアネックス 5階  
電話 03-5756-6575  
HP <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/>

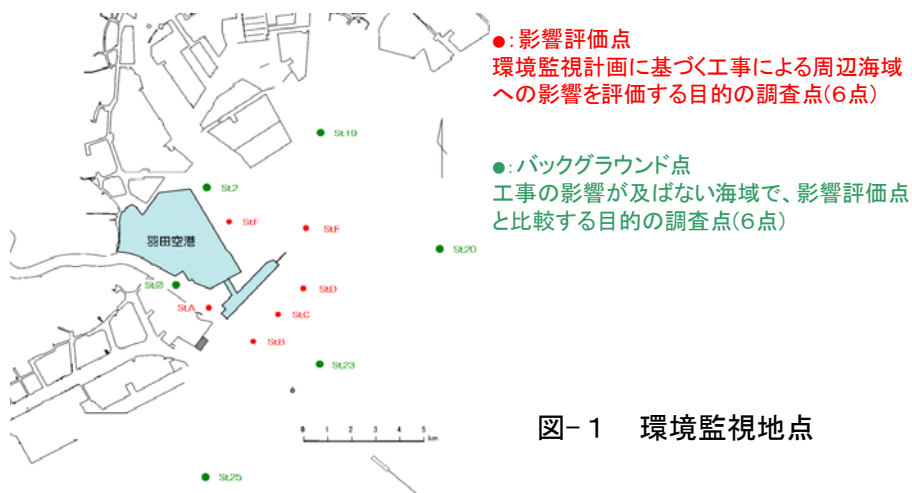


図-1 環境監視地点

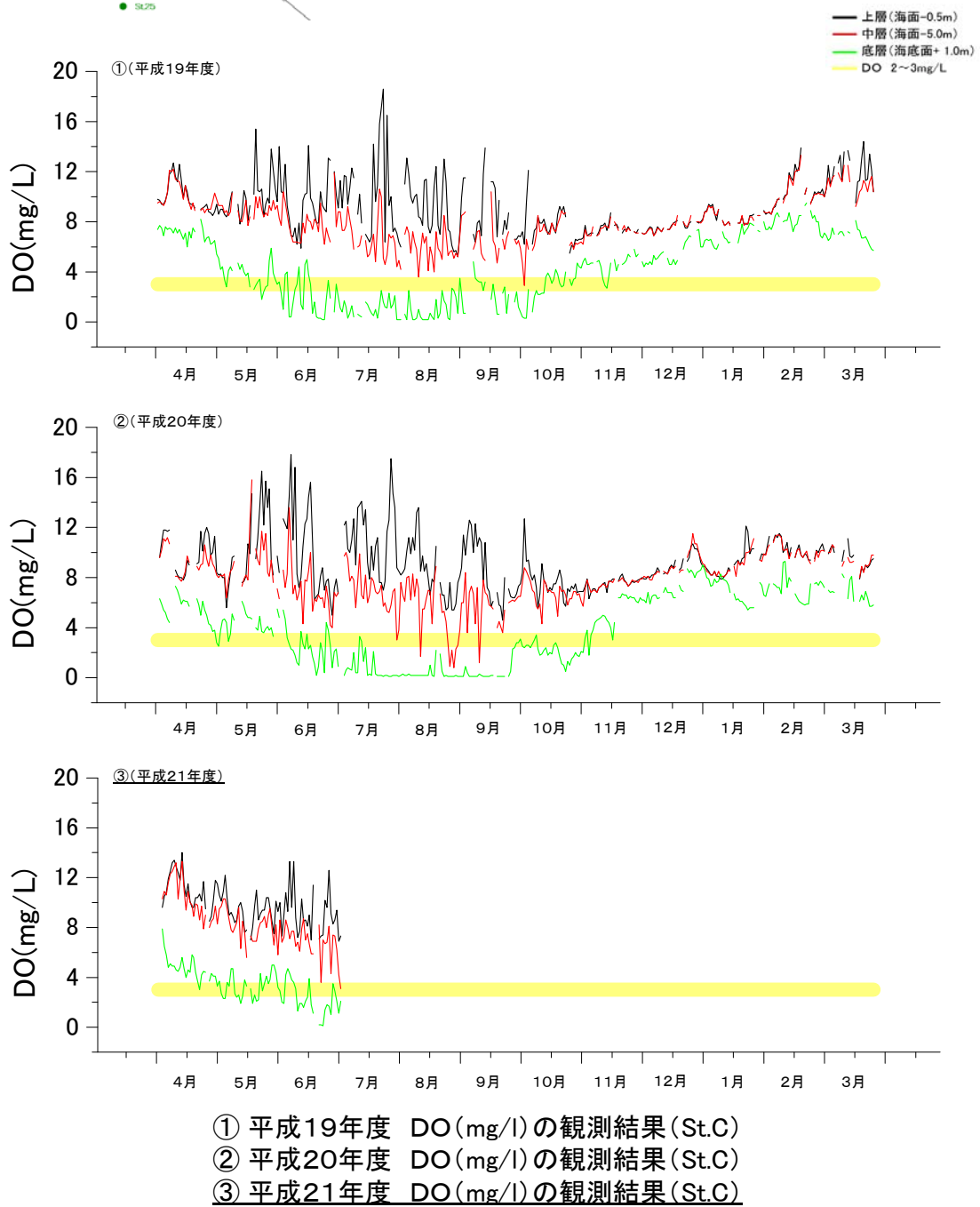
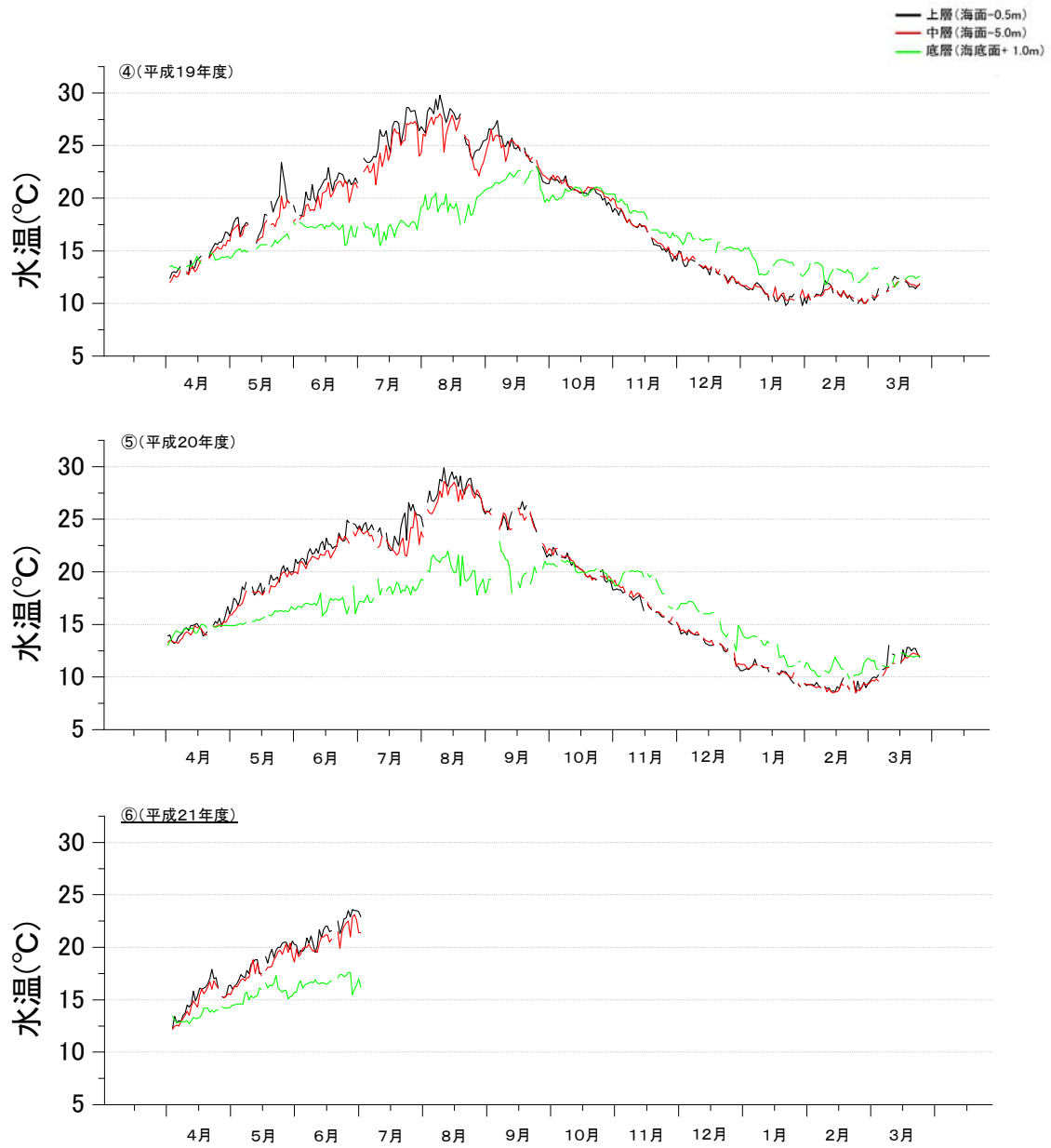


図-2 St. Cにおける溶存酸素(DO)濃度の観測結果



- ④ 平成19年度 水溫(°C)の観測結果(St.C)
- ⑤ 平成20年度 水溫(°C)の観測結果(St.C)
- ⑥ 平成21年度 水溫(°C)の観測結果(St.C)

図-3 St.Cにおける水溫の観測結果